

2つの文部科学省事業を通して、  
これまでの実績と将来への可能性が公に評価されたことは本学の誇りです。  
大阪工業大学は「建学の精神」の体現に専心し、  
ここ大阪の地で100年に近い歴史を刻んできました。  
これからも創立以来の不動の姿勢を貫き、「建学の精神に基づく実践的教育、  
および教育と有機的連携の下に推進される研究の成果をもって社会に貢献し、  
大阪の地域に根差した大学というアイデンティティを保持しながら、  
グローバル化した社会の発展を支える大学」として、  
さらに皆様の信頼を得られるよう、努力してまいります。

大阪工業大学 学長 西村泰志

文部科学省事業に採択

# 教育力

## 卒業時の 質保証

応募116校から  
関西の私立大学として  
唯一採択されました

文部科学省平成28(2016)年度  
大学教育再生加速プログラム(AP)  
高大接続改革推進事業に採択

# 研究力

## OIT-P (地域産業支援 プラットフォーム)

特色ある研究を活かし  
ものづくり大阪の発展に  
寄与します

文部科学省平成29(2017)年度  
私立大学研究ブランディング事業に採択

### 建学の精神

世のため、人のため、地域のため、  
理論に裏付けられた  
実践的技術をもち、  
現場で活躍できる  
専門職業人を育成する。

SINCE1922—100周年をめぐって。  
学校法人 常翔学園

# 教育力 / 卒業時の質保証

卒業生10万人強の輩出と全国有数の就職率(関西私学で8年連続No.1)を誇る大阪工業大学は、「実践的な専門職業人の育成」という建学の精神をさらに追求し、卒業時の全学生にゆるぎない知識・技術を定着させる独自の取組を推進しています。それは、教育内容・方法の再考、評価方法の厳正化、成果の可視化や指導の充実による学修促進等、教育体制全体の質的変換と連携強化を総合的に加速するものです。

## 「実践的な専門職業人」の育成



### 社会ニーズへの適合性と進取性の検証

企業や卒業生への調査を重ね、新たな社会ニーズの反映と先取りを推進。学外委員を含む評価委員会で、学修内容・教育体制改善のPDCAサイクルを整備。

### 一体的なキャリア形成支援

実績豊かな既存の支援体制を拡充。DSシステムと連動する独自ツール(キャリア形成支援手帳)に基づき、学修指導から就職支援まで、学力・資質・志望に応じた綿密なサポートを統合的に推進。

### 汎用的能力の育成

全国受験実績60万人以上の社会的汎用能力テストを在学中に2度実施し、学生個々の成長度を分析。DSシステムを活用したフィードバックで、より高度なキャリア形成に向けた自己研鑽を促進。

### ディプロマ・サブリエメントシステム (DSシステム)

新たな社会が求める学修内容・目標にそって、学修達成度を可視化するWebシステム。設定目標と学生個々の達成度を比較し、さらなる学修への動機づけや、最適な学修指導を実現。

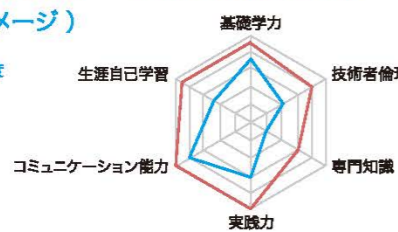
### 専門知識・技術の確実な定着

「卒業時の質保証」の根幹。学修すべき知識・技術や目標を全授業科目で明確化し、授業内外で学修の質・量の向上促進。厳正な成績評価の強化により、学修意欲をさらに活性化。科目間の連携や、反復学修機会を整備による学力の定着強化。「卒業研究」着手要件として「達成度(専門知識)確認テスト」を実施し、集大成である「卒業研究」の教育効果を最大化。

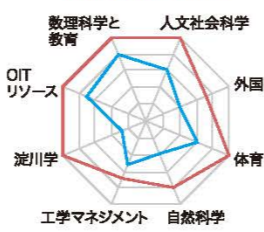
本学独自の「ディプロマ・サブリエメントシステム」では、大学方針「適正な成績評価基準に基づく厳正な成績評価」によって厳密に評価された各授業科目の成績が、ディプロマ・ポリシー(卒業認定に当たり必ず身につけておくべき能力や資質)達成度や分野別学修達成度に変換されて明示されます。これを活用して学生が自身の学修達成度を随時点検することで、さらなる学修への動機づけを得ることができます。

### ディプロマ・サブリエメントシステム (学修達成度の可視化 イメージ)

#### ディプロマ・ポリシー達成度



#### 分野別学修達成度



社会との堅固なパイプを土台とした多角的フィードバックや独自の分析も組み込み、新たな時代・社会が求める人材育成を追求する本学の活動は、関西の私立大学では唯一、文部科学省平成28(2016)年度大学教育再生加速プログラム(AP)高大接続改革推進事業に採択されました。

# 研究力 / OIT-P (地域産業支援プラットフォーム)

大阪工業大学は、3つの領域(「ナノ材料」「ロボティクス&デザイン」「知的財産」)の研究力を融合し、モノづくり企業等をサポートするOIT-P(地域産業支援プラットフォーム)を立ち上げました。OIT-Pのテーマは、「IoT 知的機器の社会実装で全世代の人々の生活を豊かに」することです。大阪を中心とするモノづくり産業とともに、人々の暮らしに密着した新たな製品やサービスの創出による豊かな社会の実現を目指して活動していきます。

## 「モノづくり大阪の発展」に寄与

バイオセンサーやガスセンサー等の健康・環境モニタリング機器

会話見守りや香りアメニティ向上等の次世代家電システム

労働・歩行・発声等を支援する生活支援ロボット



コニカミノルタ株式会社の **Kunkun body** (ククンボディ) は、「単位を持たないニオイの強度を測定し数値化」する画期的な製品です。そこには、OIT-P(地域産業支援プラットフォーム)のメンバーである大松繁教授(ロボティクス&デザイン工学部システムデザイン工学科)の研究が活かされています。



世界初! \*ニオイ見える化チェッカー Kunkun body。開発段階から世界中のメディアが注目し、日本国内はもとより、ウォール・ストリート・ジャーナル、ガーディアン、デア・シュピーゲル等、世界の主要メディアで取り上げられています。  
\*2016年12月、コニカミノルタ株式会社調べ。

写真提供: コニカミノルタ株式会社

「最新の技術や開発手法、知的財産活用により、人々の生活に密着した製品やサービスを創出する地域産業を応援し、「モノづくり大阪」に躍動感を」というような本学の活動が評価され、文部科学省平成29(2017)年度 私立大学研究ブランディング事業に採択されました。